



TALK THEME

虫歯の歴史 について

ゆかわ歯科クリニック
湯川健先生

教えて 歯医者さん

Q 虫歯はいつ頃からありましたか？

A 15～16万年前誕生した現代人の直接の祖先であるホモ・サピエンスには虫歯は「ない」か「極めてまれ」と推測される。食事の基本は「狩猟と採集」誕生はアフリカだが、その後、ヨーロッパ、アジア全土に移動しながら、マンモンや小動物、魚介類、木の実や果物などを食していたようだ。その後、火や土器の使用と食料の確保がやや安定したことで、でんぷん加工品を食すようになると、虫歯の発生（ゆっくりタイプ）が歯の根に近い部分に発生するようになった。日本では、5500年前くらいの縄文時代中期の縄文人にこのタイプの虫歯が確認されている。

Q 急速タイプとゆっくりタイプの虫歯の違い

A 急速タイプに虫歯は「砂糖が原因でなる虫歯」であり、原因菌も「ミュータンス菌」に限定できるもので、現代虫歯の主流を占めるもの。一方、ゆっくりタイプの虫歯は、「砂糖以外でなる虫歯」であり、原因菌も「お口の中のすべての菌」で、日本でいえば江戸時代まで虫歯の大半を占めていたようだ。17～18世紀のヨーロッパの植民地支配での「砂糖プランテーション」の広がりが全世界に砂糖の安定供給をもたらした結果、皮肉にも現代の虫歯の爆発的な発生につながった。一言でいえば「虫歯あるところに奴隷あり」。過去の歴史も鑑みて虫歯予防に励みたいものだ。

89.7

MHz

毎週月曜日の13時台
FM東広島で放送中

9月16日13時台の出演は「インプラント治療（後編）」について第二荻本歯科医院・荻本正文先生に聞いていきます。

歯にまつわるいろんな情報を届けます